



東京都世田谷区

地域課題：食品ロスを削減するための取り組み

食品ロスを食べ物として生かして、
値引きや寄付し、食品ロスを減らす
取り組みを消費者に見える化し、社
会貢献したことをポイント化して地
域社会で支え合うサービス

世田谷区

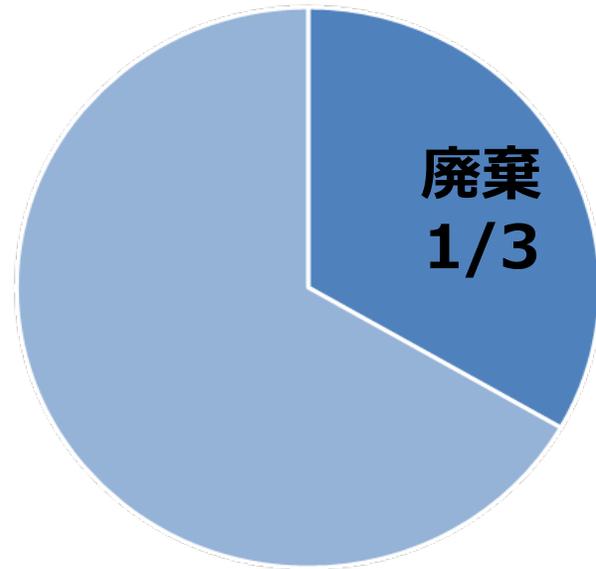
東京農業大学

国際農業開発学科食品ロスゼミ



世界の問題 食品ロス

国際目標：食品ロスと廃棄を2030年までに半減

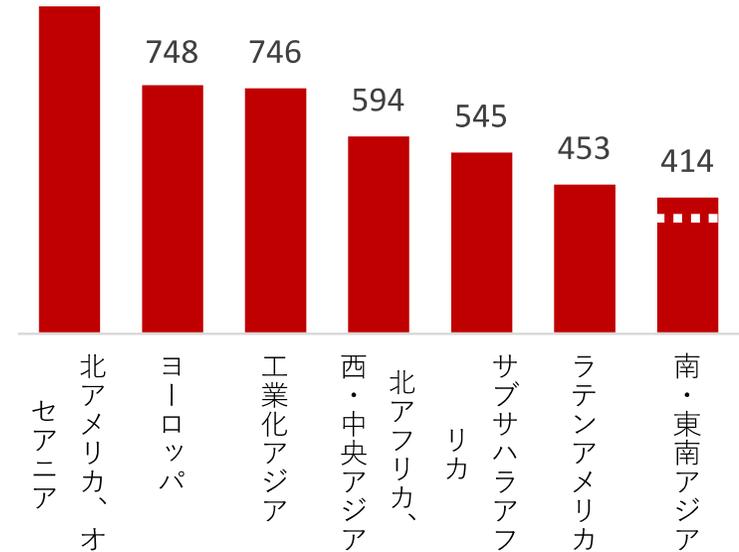


世界で生産される食料の
1 / 3が廃棄 = 13億トン
(FAO,2011)



UNICEF (2020)

61%は
消費者
段階で
廃棄

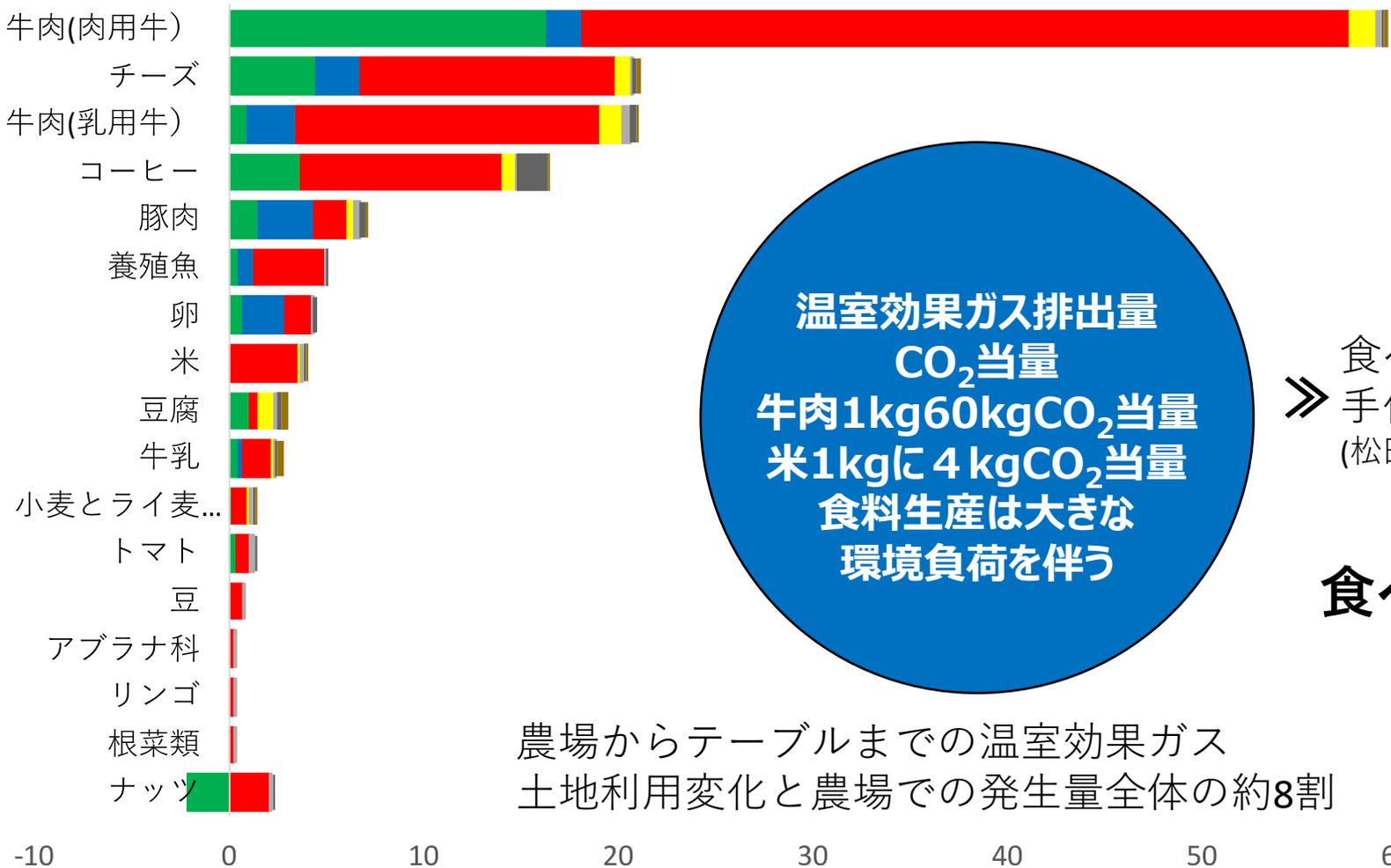


87%は製
造、貯蔵、
輸送段階
で廃棄

食品ロスは大きな環境負荷

農作物の温室効果ガス排出量(kgCO₂当量/kg食料生産)

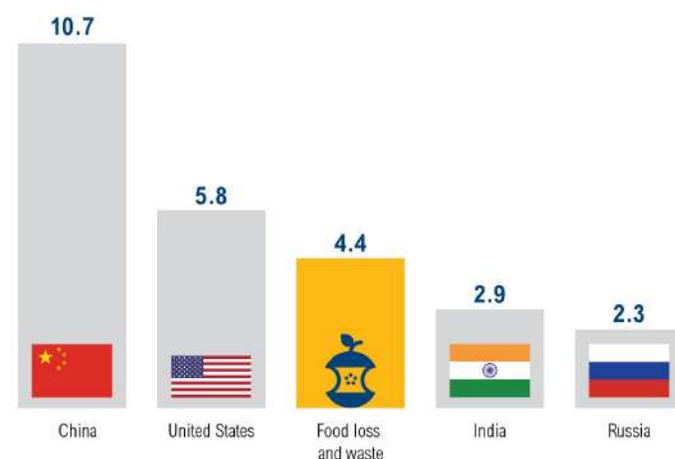
■ 土地利用変化 ■ 飼料 ■ 農場で ■ 加工 ■ 輸送 ■ 包装 ■ 小売り



温室効果ガス排出量
CO₂当量
牛肉1kg60kgCO₂当量
米1kgに4kgCO₂当量
食料生産は大きな
環境負荷を伴う

農場からテーブルまでの温室効果ガス
土地利用変化と農場での発生量全体の約8割

出典：Poore, J., & Nemecek, T. (2018). Science, 360(6392), 987-992. より抜粋



世界の食品ロスと食品廃棄物処理は
世界第3位温室効果ガス排出者

CIAT, FAO(2015)

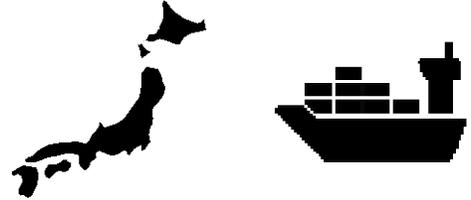
食べ残し 0.018kg/kg
手付かず食品 0.006kg/kg
(松田ら, 2010)

食べ物はできる限り食べ物として

日本の食品ロスの現状

事業系と家庭系両方の削減取り組みが必要

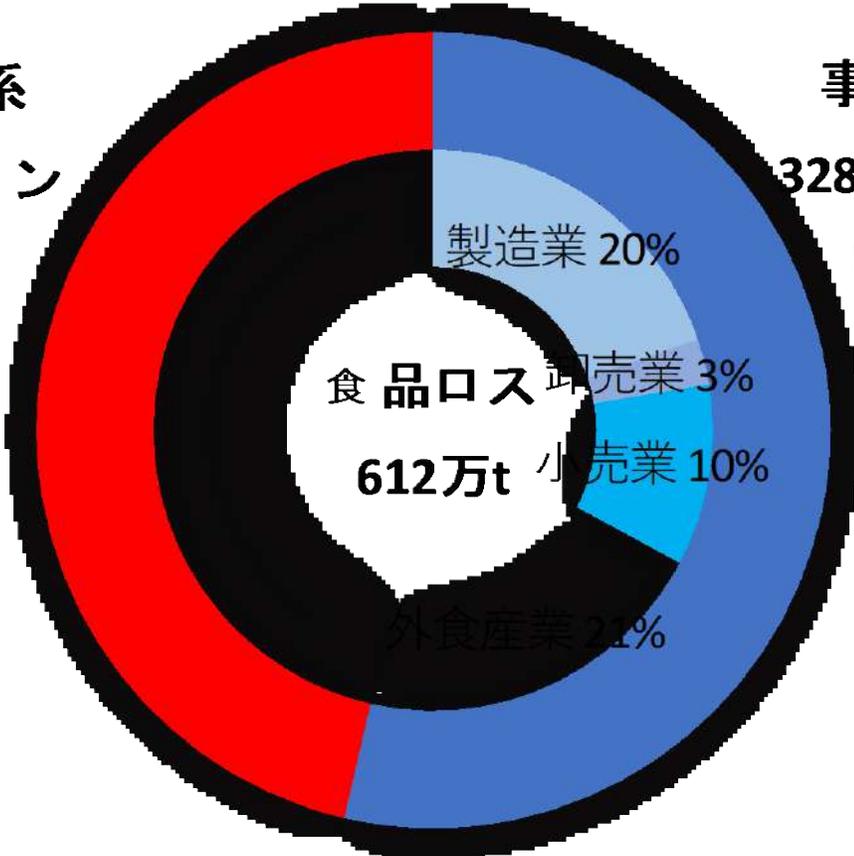
38% 自給 62% 輸入



日本の食料自給率は低い
WFP, 農林水産省

家庭系
284万トン
46%

事業系
328万トン
54%



食品ロス
612万t

国連世界食糧計画(WFP)の食料援助量の約2倍廃棄

WFP, 農林水産省

廃棄物処理コスト：市町村および特別地方公共団体が一般廃棄物処理に要する経費約2兆円/年→一人当たり約16,500円の処理負担額 環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況などについて」

相対的貧困G7で第2位の日本

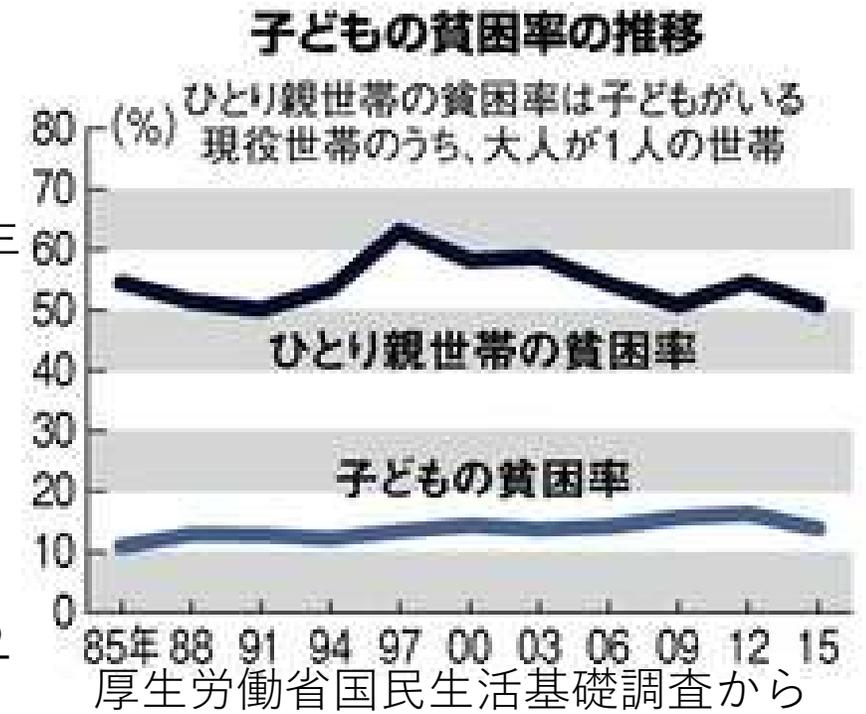
相対的貧困：世帯の所得がその国の等価可処分所得の中央値の半分に満たない人々6人に一人（年収122万円未満：2015年）

コロナで高校就学継続不可能の可能性：

都内ひとり親家庭高校生給付金受給者への調査によるとコロナの影響で食費が増えた世帯が9割を超える。赤字世帯は8割を超え、高校就学継続が不可能の可能性がある世帯は3割存在。（Save the Children Japan, 2020）



貧困放置の社会的不利益：子どもの貧困の放置による経済的影響の推計によると、現在15歳の子ども1学年だけでも、社会が被る経済的損失は約2.9兆円に達し、政府の財政負担は1.1兆円増加する。（日本財団, 2015）



食品ロスを活用する既存の取り組みと問題点

子ども食堂 地域交流の拠点と子供の貧困対策を目的とした活動。

フードバンク 食品の衛生管理や品質保証、仕分け、配送の手間がかかるため多くの施設で予算・人員不足が問題。
食べることは毎日、でもサポートは月数回

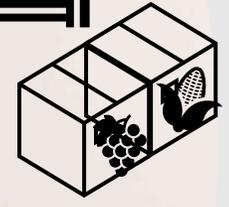
既存食品ロス削減アプリの問題 既存の食品ロス削減アプリには寄付機能がない。サービスカバーエリアが都市部に集中している。手数料と手間の問題、中小規模の商店が取り組みにくい。

問題解決のためのアイデア



値引き
消費者が発信

寄付
事業者が発信



食品ロス削減 = 社会貢献
見える化

食で地域との繋がり

食品ロス削減店舗情報
世田谷区が発信



値引き



食品ロス削減の取り組みが可視化されたら8割がその店を選ぶと回答